

2次評価の平成30年度予算案への反映状況

No.	事業名 (予算事業名) 事業区分	1次評価(担当課自己評価)及び 改善内容・現行どおりとする理由		2次評価結果及び 概要等		平成30年度予算措置の概要等	当初予算額(単位:千円)					
							平成30年度		平成29年度		増減	
							一般 財源	一般 財源	一般 財源	一般 財源	一般 財源	
1	学生のみちづくり事業 (企画推進費) 政策推進課 評価 シート N ソフト事業 0.041	A	現行どおり 事業を進めることが適当	A	現行どおり 事業を進めることが適当	学生が積極的に参加できるよう工夫を重ね、事業を実施する。	238	238	256	256	18	18
		今後の方向性「現行どおり」 高等教育機関に在籍する学生が地域の課題について研究しその解決策について提案することは、学生が自分自身の研究等について考える機会となるのみならず、地域の課題解決、地域活性化につながる可能性もあるので、現行どおり事業を進めたい。		募集テーマを決める際は、各校の指導教員に絞り込んでもらう、あるいは、学生自身に地域の課題を発見してもらうなど、実施段階の学校側とのプロセスを重視し、学生が興味を持って本事業に積極的に参加するよう工夫しながら事業を進めること。								
2	路線維持費等特別補助金 (地域交通対策費) 生活安全課 評価 シート N 補助金事業 0.085	A	現行どおり 事業を進めることが適当	B	事業の一部に見直しが必要	平成30年3月末で1路線を廃止する予定であり、その分について減額した。	4,967	4,967	6,330	6,330	1,363	1,363
		今後の方向性「現行どおり」 交通弱者の移動手段として維持していくための必要な事業であるが、引き続き、バス事業者に対して運行内容の改善を求めていく。		利用者数の増加策について、民間事業者に積極的に検討を促すこと。併せて、沿線住民等に対し、路線維持に多額の費用を要していることを周知し、利用促進に努めること。								
3	ひとり親家庭等福祉費 (ひとり親家庭等福祉費) 子育て支援課 評価 シート N ソフト事業 0.283	A	現行どおり 事業を進めることが適当	A	現行どおり 事業を進めることが適当	平成30年度から母子・父子自立支援員を1名増員して2名の複数人体制とし、家庭児童相談員との連携による相談支援体制の更なる充実を図るとともに、相談ノウハウの継承等も含めて、事務の効率化に取り組んでいく。	7,053	6,153	3,936	3,036	3,117	3,117
		今後の方向性「拡充」 核家族化、少子化、離婚率の上昇、地域社会における人間関係の希薄化等、近年の社会情勢の変化に伴い、母子・父子自立支援員の相談内容も複雑化・高度化しており、現在の1名体制で受け入れることができる相談件数は限界に達している。 また、地域振興・文化課で実施している女性相談で対応できないケースの受け皿としての機能も実質的に果たしている等、業務内容は多岐にわたっていることから、母子・父子自立支援員を2名体制に拡充する必要がある。		事務効率化を図った上で、相談需要に見合った人員を検討すること。								

No.	事業名 (予算事業名) 事業区分	1次評価(担当課自己評価)及び 改善内容・現行どおりとする理由		2次評価結果及び 概要等		平成30年度予算措置等	当初予算額(単位:千円)					
							平成30年度		平成29年度		増減	
							一般 財源		一般 財源		一般 財源	
7	いきいき射水太閤山フェスティバル開催補助金 (観光推進費) 港湾・観光課 評価シート N補助金事業 0.532	A	現行どおり 事業を進めることが適当	B	事業の一部に見直しが必要	本イベントの賑わいが、市内の他のイベントや観光に波及するよう取り組んでいく。	750	750	750	750	0	0
8	絵本ワールド開催補助金 (芸術文化振興費) 地域振興・文化課 評価シート N補助金事業 0.722	B	事業の一部に見直しが必要	B	事業の一部に見直しが必要	実行委員会及び絵本文化振興財団と市内外の多くの方が大島絵本館を訪れるような取組みについて協議する。	360	360	360	360	0	0
合 計							31,682	30,782	28,849	27,949	2,833	2,833